

南笠東学区社協だより



みず くき 水 茎

第41号

令和6年3月1日

発行 南笠東学区社会福祉協議会
協議会広報委員会
草津市笠山一丁目1番47号
TEL.077-561-8469
発行部数 2700部

令和5年度健幸講座 (健幸なまち南笠東プロジェクト)

第1回「歯周病と全身疾患の関係」



第2回「まち散歩」



第5回「南笠東健幸落語会」



第4回「楽スポ」



一年を振り返って

令和5年度は、不安定な国際情勢や物価の高騰など先行きの不透明感が強まり、暮らしは期待以上の経済発展を感じず、全国的には社会的問題等がさらに深刻となりました。新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月8日感染法上5類に位置づけられ、外出の制限がなくなり、人々の往来が再び活発になるなど、社会や福祉環境にも新しい変化が訪れ、これまでも増して、助け合い・つながり活動が必要となった年度であったと思います。

振り返れば、令和2年1月に、日本で新型コロナウイルス感染症が確認され拡大し、「あたりまえであった、人と人との交流やつながり」を遮断することが約4年と2ヶ月という長い期間求められました。

しかし、南笠東学区社会福祉協議会は「止めない地域福祉活動」を合言葉に「第3次南笠東学区住民福祉活動計画」に基づいた事業や活動を実施してきました。

南笠東学区社会福祉協議会 会長 清水和廣

特に、平成29年度に健幸のまち草津モデル事業補助金を活用した健幸なまち南笠東プロジェクトは、今も推進チームメンバーにより事業を実施しています。今年度の健幸講座は、「歯周病と全身疾患の関係」「まち散歩琵琶湖大橋を歩いて渡ろう」「食に関する講座」「楽スポ」「立命館大学生落語」「歌って踊って身体と脳機能向上」の講座とボランティアヘアカットの7回開催いたしました。まちづくりセンターに血管年齢測定器、体組成計等を、河川公園に健康器具を設置し学区の方にご利用いただいています。

今後も健康を意識して、健幸な暮らしで南笠東学区に住み続けていただきたく進めてまいります。

また、1月1日に能登半島地震が発生するなど、心痛の年明けとなりましたが、「災害は日常的つながりこそが大切である」という考えをしっかりとって地域福祉活動を工夫し進めてまいりますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本 部

ボランティア団体新春交流会・福祉懇談会
 年の初めに各種団体長や町内会長、民生委員等が集まり、フリートークなどで楽しく交流し、学区内の情報を交換することができました。
 同日、福祉懇談会で「健康は腸から」をテーマに講演をいただきました。



百歳体操
 学区内5か所（町内会）で週1、2回開催。高齢者の健康と交流のため、楽しく、元気に活動されています。

合同フェスタ
 10月21日に開催され、サブテーマ～つなげよう、広げようボランティアの輪～を基にボランティア団体「なかま」「送迎サポート」「つながり」「みな小おうえんたい」へ感謝状贈呈がされました。



送迎サポート
 日常生活支援が必要な方に対して、閉じこもり予防や、介護予防等にボランティア運転手さんによる病院、買物、公共施設への送迎を実施しています。



敬老会イベント
 バスで移動しホテルでの開催は3年目。高齢者の方にワクワク気分を外出する機会になればと開催。今年は148名の方が参加。



配食サービス
 高齢者の見守りの一環として、80歳以上の独居の方、高齢者のみ世帯の見守りが必要な方に月1回、民生委員・児童委員がお弁当と笑顔をお届け訪問しています。



びわこ学園との交流
 入所者さんとご家族が参加されたびわこ学園のおまつりに出向き、寄贈の品をお渡しました。



青少年福祉部会

子ども体験教室
 Ecoな生活体験教室を2日間開催。エコクッキングや地産地消の食事づくり、食と地球温暖化対策などを学び、ダンスやドラム缶風呂、わんこそうめん等楽しい時間を過ごしました。



子育てサロンあそぼ
 対象をおなかの赤ちゃんから未就学児さんまでに広げ、親・子さん同士の交流・遊びの場として開催しています。



食育講座
 健康推進員は、前期は小学校3年生に「早寝早起き朝ごはん」の話をし、夏休みにチェックシートを実施してもらいました。後期は合同フェスタ参加者に啓発し朝ごはんメニューブックを配布しました。



離乳食レストラン
 栄養についての座学・離乳食の試食などを主とし、参加者同士の交流に繋がりました。



赤ちゃん訪問
 民生委員・児童委員が、出生または転居で2歳未満の乳児のいるご家庭に訪問し、子育てや暮らしのこと等、気軽に相談出来る窓口を紹介し、子育て支援に繋いでいます。



寺子屋
 BBS会がお兄さん、お姉さんとして子どもと一緒にゲームやレクリエーション、スポーツをしたりして遊びます。対象は小学生1年～6年が中心です。一緒に遊び、時には悩み事の相談相手になり、子ども達の居場所を提供しています。

民生福祉部会

一般公開ケース研究会
 学習テーマ：生きづらさを生きていく“地域のチカラ”を基に4グループに分かれて活発な意見交換をしました。



赤十字奉仕団活動

- ・県の日赤支部より講師にきていただき、災害の対策法、対処法の研修会を行いました。
- ・南笠東小学校 5、6年生と一緒に地域のごみ拾いをしました。



委員研修
 福祉活動を担う社会福祉協議会と各種ボランティア団体が相互の理解を深め、連携強化を目的に、高齢者福祉部会と民生福祉部会合同の研修会を開催しました。



災害時支援訓練
 赤十字奉仕団は11月の防災フェスタ開催時に、大鍋を活用して200食の豚汁を作り、参加者に試食していただきました。災害に備えて、これからも訓練は実施していきたい。



施設訪問
 更生保護女性会では、3月5日に一体化した子どもたちの「育ち」を支え、支援をされている乳児院・児童養護施設を訪問・見学します。



高齢者福祉部会

高齢者健康教室
 高齢者の心と体の健康づくりを目的に、7月に「フレイルって何？」の講話と、10月に笑いヨガ体験の講座を開講しました。



ふれあいサロン
 65歳以上の方を対象に実施。ハーモニカの演奏で若かりし日々の思い出の歌を歌ったり、ピンゴゲームに興じるなど楽しい時を過ごしていただきました。

バースディ訪問
 民生委員・児童委員 80歳以上の高齢者433人のそれぞれの誕生日にお宅を訪問。情報の提供や要望・意見をお聞きし、必要とする支援に繋げる活動に取り組みました。



南笠東学区
送迎サポート事業

送迎ボランティア運転者さん募集!

あなたの空いている時間で
週に1日でも、月に1日でも、
男性でも女性でも。

歓迎



★ボランティア運転者の概要



- ・概ね75歳以下で、10年以上の自動車運転経験を有し5年以上無事故の者（軽微な物損事故を除く）
 - ・送迎事業の実施日時は、月曜日から土曜日の午前9時から午後4時30分まで。お盆、年末年始、祝日などは実施しません。
 - ・送迎先は、草津市内（原則）の医療機関（通院）、行政機関、福祉施設、生活必需品の買い物のみ。
- 問合せ・連絡先：南笠東学区社会福祉協議会事務局
南笠東まちづくりセンター（電話：077-561-8469）

令和6年能登半島地震災害義援金受付



ご協力をお願いします

受付（義援金箱設置）場所：南笠東まちづくりセンター

ご協力いただいた義援金は、草津市社会福祉協議会へお渡しし、日本赤十字社より被災県が設置する義援金配分委員会へ全額お送りします。詳しくは日本赤十字社ホームページをご覧ください。



令和5年度 草津市社会福祉協議会賛助会員名簿

(株)アルタシミス
(有)オカダ設備
(株)笠山
草津マスミ美容室
江南工業(株)
郷インテックス(株)
(株)湖光
滋賀トヨタ自動車(株)
瀬田草津店
滋賀ピーエス(株)

滋賀日万(株)
(株)ジーエス・ユアサ テクノロジ
—
大容量リチウムイオン電池本部
(有)清水倉庫
(株)千商
(株)ダイロ-ロジ サービス
(株)竹川造園
棚橋産業(有)

日電硝子加工(株)
日本硬質硝子(株)
日本黒鉛工業(株)
百栄鋳金
(有)一実牛乳
(株)プロニティ
丸實倉庫(有)
三国工業(株)
(有)柳印刷店
(有)ラ・リヴィエール
(敬称略) (順不同)

ご協力ありがとうございました

《編集後記》社会福祉とは、広義には全国民を対象に一般的な生活問題の解決を目指すとありますが、学区の福祉組織の多くは、自由な活動を軸にして、お互いに連携して特色ある地域づくりを進めていこうとする任意団体の集合体です。本学区においても諸団体が個々の目的を持ちながら楽しく課題の達成に向き合っています。まもなく令和6年度の事業がスタートします。本紙で活動の様子をご高覧いただき、まちづくりの仲間に加わってくだされば幸いです。
(編集委員 川瀬善行)